

スポーツクラブ関係者・スポーツクラブを立ち上げようとしている皆さんへ

埼玉県では以前から陸上競技のクラブが活動していましたが、1985年、第1回全国小学生陸上交流大会の開催以後、多くの地域クラブが誕生してきました。また近年では、中学校の部活動地域展開にともない、ジュニアクラブが設立され、あるいは設立を検討している団体があるように聞いています。そのような中ですでに活動しているスポーツクラブにおいて、様々な問題点が発生していることも耳にはいつてきています。

特にこれから本格的な夏のトレーニングに向かう中で、暑さへ対応は非常に重要になります。さらに、スポーツクラブの運営では、①コンプライアンスの徹底（暴力・暴言の防止）、②安全管理（保険加入や救命体制）、③財務の透明化、そして④指導者・保護者間の明確なルール決めが最も重要です。トラブルを防ぎ、健全な組織を維持するために以下のポイントを整備しましょう。

※下線部に関係する情報は、2ページ目にURLを掲載しています。

1. 運営とコンプライアンス

①規約・ガイドラインの策定

チームの目的、会費、退会条件などを明記したチーム規約の作成。スポーツ庁が推奨するスポーツ団体ガバナンスコードを参考に、組織のルールを透明化します。

②ハラスメントの防止

指導者による暴力、暴言、パワーハラスメントを厳禁とし、相談窓口の設置や定期的な指導者研修を行うことが不可欠です。

2. 安全管理とリスクマネジメント

①スポーツ保険の加入

万が一の怪我や事故に備え、活動に関わるすべての選手・指導者がスポーツ安全保険などに加入することが必須です。

②熱中症・救命講習

夏場の活動における水分補給やWBGT値の確認、AEDの設置場所の把握、身体を冷やせる場所の確保などに加え、日本スポーツ協会などが推奨する救命講習の受講を徹底します。

3. 経理と会計の透明性

①資金管理の厳格化

会費の集金や備品の購入は、代表者個人名義の口座を避け、クラブ専用の法人・団体内名義口座で管理。収支報告を定期的に保護者やメンバーへ開示し、金銭トラブルを防ぎましょう。

②任意団体か法人化かの検討

小規模な場合は任意団体でスタートできますが、チームが拡大した場合は法人格の取得を検討してもいいでしょう。

4. 指導体制と地域連携

①適切な指導者の配置

陸上競技の技術だけでなく、指導方法や安全管理に関する資格・経験を持つ指導者を配置するようにしましょう。

②情報発信とコミュニケーション

スポーツクラブの運営における 7 つのポイントを参考に、活動スケジュールや方針を SNS や HP で適切に発信します。また、保護者の当番制などの負担が大きい場合は、運用ルールの見直しも必要です。

〔参考〕

① JSP0〔団体運営にあたってのルール作り〕スポーツガバナンスコードについて

<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1421.html>

②スポーツ安全協会〔スポーツ安全保険について〕

<https://www.sportsanzen.org/>

③JSP0〔夏のトレーニング時必見〕

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid532.html>

④日本陸上競技連盟〔陸上安全ナビ〕

<https://www.jaaf.or.jp/safety-navi/>

⑤スポーツ庁〔運動・スポーツ活動の運営者の皆さまへ〕

https://www.mext.go.jp/sports/content/20270209-spt_kensport01-300000789_9.pdf

⑥東京都スポーツ協会〔スポーツクラブの運営における 7 つのポイント〕

<https://club-tokyo-sports.jp/chiiki-sports-club/management/>